船場の

氏神·産土神

御霊

神 社

新

## 34



2008年(平成20年)4月10日(木)

園あたり)の円神祠だ った大阪湾入江の円江 (現在の大阪市西区靱公

商人の信仰と支持を集め となる。以降、昆布、 るに至った。 った靱周辺の商人や船場 鰹節をはじめとする海 船場へ移され、御霊神社 594) 年に現在地の北 座物の日本一の集散地だ 時が経ち、文禄3(1

の祖父に当たる千秋氏が れの着工時にも文夫宮司 の敷設工事の時で、いず 路工事、地下鉄御堂筋線 おはらいを担当されたと かかわりは、御堂筋の道

楠木を飛行場にするため る楠永神社やその周辺の 米国が神社の旧跡地であ に撤去しようとした。ブ 第二次世界大戦後は、

毎

で、今日は御霊神社をでもある方からの提案

った。当神社は大阪市の

西部に当たる旧摂津国津

訪ねた。取材に応じてく れたのは園文夫宮司であ

村郷の産土神。そのルー ツは、嘉祥3 (850) 年の「文徳実録」による と、八十嶋祭の祭場を祭

堂筋ものがたり」の読者 船場で生まれ育ち、「御 日

人形浄

しかったという。神社の

やその装束の誂えに忙 巫女さんなどの食事準備

奥さんは真ににぎわいの

核であり、その支えであ

米国駐留軍の要請で文

いを維持するために、船

にぎわした。このにぎわ

ったようだ。

現在の園文夫宮司の代

夫宮司の父の克己氏がお

御霊神社の御堂筋との ろ、中でまっ白な蛇がト かげで楠永神社と楠の大 事を取りやめた。そのお 関係者はひどく驚き、工 ており、それを見た米軍 い蛇は神の使いといわれ ていたという。昔から白 グロを巻いてこちらを見

御

なられた文夫宮司の母 で御霊神社の若奥さんに 35)年、京都から嫁い

で、社務所の神職さんや は、お正月・お祭りなど っていた。昭和10

械が動かなくなり、 に撤去しようとしても機 けが人も続出した。 ルドーザーを使って また 一気 瑠璃の御霊文楽座などの 田席、文団治席・あやめ 館などの落語席、 常設小屋が境内や門前を 影絵の尾野席、講談の土 木が今なお靱公園に残っ 占で最高潮に達した。錦 のにぎわいは参拝者と夜 霊神社の信仰により 商人 江戸時代末期には、

社殿の扉を開けたとこ はらいすることになり、 一蛇に米駐留軍も撤去中止 生活スポンサーを求めら 場商人は役者や演出者の わいを取り戻すために、 となり、またもとのにぎ

う。文楽は大阪で育ち、 あった明治17(1884) れた。特に御霊文楽座の として大繁盛したとい 年までは大阪人の社交の 年から大正15(1926) いえよう。 流になった芸能文化と 船場商人の商談の場

電気がつき、夜鳴きうど そろい、夜中まで煌々と 生活雑貨、用品は何でも 店街は非常ににぎわい、 んの自転車も遅くまで走 神社の周りの平野町商 に接し、なんともいえな いる。御堂筋近辺にお勤 境内の緑地化をすすめて ら、境内を後にした。 い温かいものを感じなが 化につとめておられる姿 る。文化活動や地域活性 会などに無料提供してい にもなる儀式殿は、文楽 る。また200名も収容 を並べ開放しておられ めされている方々に一癒 できる舞台つき小ホール やしの空間」として椅子 落語・日舞・文化講演

大阪ガスビル 阪神高速道路 御霊神社

> 絵・文 熱田親憙